

シリーズ各区ですすむ住民主体のまちづくり

花あふれる美しいまちをめざして～中央区～

1. 中央区の歴史

中央区は、葺合区と生田区という旧生田川（フラワーロード）を境に分かれていた2区が合併して、昭和55年12月に誕生しました。今年、合区から25年を迎えます。

中央区としての歴史はまだ浅いものの、区内には縄文時代の遺跡や弥生時代の遺跡が発見されており、また、布引の滝や生田の森は古典文学の中にも多く登場し、古代より人々が集まり生活してきた場所であることがうかがえます。幕末の兵庫開港によって外国人居留地が整備され、近代神戸が発展していく中で、その中心的な役割を担ってきたのが、現在の中央区で、先進的で国際性の豊かなまちとして発展してきました。

2. 中央区の現状

区の人口は、昭和35年をピークに多少の増減はあるものの減少を続け、阪神・淡路大震災で大きく減少します。しかし、その後HAT神戸の整備などにより、平成14年には震災前の人口に戻り、その後増加に転じ、現在も増加傾向が続いています。人口約11万4千人、世帯数約61,900世帯、年々少子高齢化が進行するとともに、全世帯の5割を超える世帯が単身世帯という都心の特徴を現しています。

一方、昼間人口は約28万人を数え、都心の特徴的な業務、商業、文化、国際交流などの都心型都市機能を持っています。また、区内に居住する外国人数は人口の1割を超え、多国籍の外国人が居住し、外国人コミュニティが存在します。区内には、旧居留地や北野・山本地区など歴史的資源も数多くあります。六甲山系の自然と生田川や神戸港のウォーターフロントなど、海や山に恵まれた都心として、多彩な地域の個性を生かしながら、経済・文化・観光など、神戸市の中核を担う区としての役割を果たすことが求められています。

3. 新たなまちづくり活動

今回は、神戸市の玄関口でありメインロードである、フラワーロード（税関線）で新たに始まった、花いっぱい事業について、紹介します。

神戸市では、昭和53年に「神戸市都市景観条例」を制定し、神戸らしい都市景観をまもり、そだて、つくるための取り組みを行ってきました。

中央区内には都市景観形成地域が5地区あり、税関線沿道は昭和56年に指定されましたが、JRの北側地区には、これまでまちづくりの情報交換の場がなく、その場づくりが待ち望まれていました。



寄せ植え講習会

震災により大きな被害を受けた沿道も新たな商業ビルやマンションなどが立ち並び、賑わいを取り戻し始めると同時に、様々な問題も出てきました。そこで、平成16年9月に、フラワーロードの景観などを沿道の事業者や住民が検討するための「フラワーロード沿道まちづくり協議会」が設立され、花と緑あふれる美しい通りを目指しての新たな取り組みが始められることとなりました。

協議会の最初の取り組みとして、県の被災地修景緑化支援事業の助成を受け、震災10年の復興と感謝の気持ちを花に込め、沿道の事業者、住民、行政が協働で、飾花活動を始めました。この事業は、計画段階から地域住民や事業者の参画を受け、神戸の顔であるフ

フラワーロードを花いっぱいにし、地域活性化へのきっかけづくりとするためのもので、寄せ植えの講習会や美緑花 DAY での花の植え替え、美化作業なども行われています。



花の植え替え

一方で、JRの南側地区では、すでに地域団体が様々な活動を始めていますが、今回の花いっぱい事業を受け、沿道を活動範囲に含む地域団体等の相互の連絡調整と親睦を図り、フラワーロードを美しく魅力ある通りとするため、「フラワーロード美緑花推進協議会」を設立しました。

新神戸駅から神戸税関まで、JRの北側と南側をつなぎ、文字通り花と緑あふれる美しいフラワーロードの実現を目指し、地域と行政が連携し始まった、花いっぱい事業への取り組み、春の日差しを浴びて美しく咲く花を愛でながら散策してみたいかがでしょう。

4. 今後の展開

平成15年度から、「美しいまち神戸」の実現に向け、

花やみどりの活動をきっかけに、まち全体を美しくする取り組みを進めるため、都心地域の11地区の代表者による「花とみどりの回廊」づくり懇談会を開催しています。建築家の安藤忠雄氏からのアドバイスを受けながら、それぞれの地域の特色を生かした美しいまちづくりが進められています。

フラワーロードの沿道も加わり、民有地の飾花への取り組みが、始まりました。神戸市の中心部が一体となって、より美しくパワーアップし、神戸を訪れる人々を暖かくおもてなしするとともに、地域で住み、働く人々にも、心が安らぎ潤う空間を提供することが期待されています。



(中央区まちづくり推進課)

平成16年度 復興まちづくりセミナー開かれる

今年度の復興まちづくりセミナーは、一昨年9月に発足したまちづくり関係の緩やかな連携組織である「こうべまちづくりセンター・研究ネットワーク」との共同で多くの研究会による連続シンポジウムとして2月10日～14日にかけて行いました。

震災から10年まちの復興に携わった人達が、それぞれの立場から発表を行いました。

今回のシンポジウムは、神戸での震災からの復興に限定せず、新潟県中越地震からの貴重な経験や中越地震に対しての神戸市からの派遣職員の報告、また、まちづくりの記録をどう取りまとめいけば今後のまちづくりに活かしていけるのかということまで幅広く論議されました。

今回の参加研究会は、研究ネットワークに参加している16研究会のうち西神ニュータウン研究会、再開発研究会、(仮称)都市基盤整備研究会、まちづくり法制研究会、水谷ゼミナール、神戸防災技術者の会、



まちづくりアーカイブズ研究会の7研究会と神戸大学が研究成果を発表しました。

各回とも盛況で、530名の方に参加いただきました。

「中山手地区第一種市街地再開発事業」

【地区概要】

中山手地区は、神戸港の開港以来、外国人が多く住む北野地区から職場のある居留地を結ぶ通勤路として発展した国際色豊かなトアロードに面し、かつてこの地区内に中国人学校である神戸中華同文学校があったことから、現在も、華僑住民が多く暮らしている。

都心三宮の北西700メートルに位置し、神戸を代表する交通・商業・業務、行政、観光、文化、自然等の施設がすべて1km圏にある非常に利便性の高い立地であるが、地区内には老朽化した低層木造建物が密集し、土地利用も細分化され、用途も住商混在している。



位置図

【事業化の経緯】

このため地区の住環境・商業環境の改善と中心市街地にふさわしい街区構想を実現するため、昭和63年に再開発協議会、続いて平成2年に再開発準備組合を設立し、再開発事業をめざして各種調整を行っていたが、折からのバブル崩壊によりデベが撤退し、事業は停滞した。

また、平成7年1月の阪神・淡路大震災により甚大な被害を受け（93棟中47棟が全壊により消滅）約半数の建物が倒壊した。

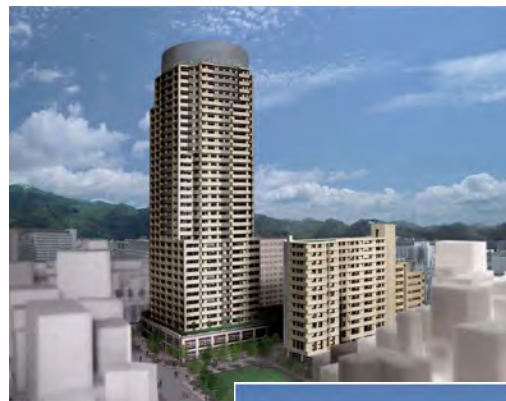
地区の特性として権利関係が複雑し、意見調整は難航したが、長期間の努力により、次第に意見集約が進み、権利者の約90%の要望により、平成15年2月に都市計画の決定がなされた。その後、平成16年3月に組合設立申請を行い、平成16年8月には組合設立が認可された。

【事業内容】

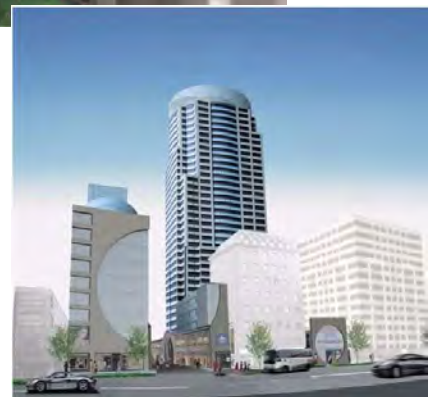
事業の愛称は『トア山手プロジェクト』で、キャッチフレーズは『海に、山に、空に、未来に手がとどく・・・“トア山手”』である。事業区域は約1haで、公共施設として地区内の道路を拡幅し、誰もが憩える地域のシンボリックな街区公園（1000㎡）や屋外スペースを整備することで、生活環境の向上を図る。

建設計画では六甲の山並みに映える神戸らしいランドマークとしてのデザインに配慮した超高層棟（35階建て、260戸）と高層棟（13階建て、80戸）建設し都心回帰の住宅需要に応える。

また、各棟の低層部には商業施設を計画的に配置し、トアロードの街並みに連なるハイセンスな店舗と華僑住民が多く暮らしてきた歴史にちなんだ施設の誘致をはかることにより、地区の特性を活かした特色と魅力ある安全・安心なまちづくりを目指している。



↑
→完成予想図



平成17年中に建設工事に着手し、平成20年3月完成予定。

市野 久仁雄 （都市計画総局再開発課民間再開発係）

新着図書のご紹介

名称	大分類	中分類	著者名	発行元	発行年月	頁数
銭湯帰りにお好み焼き	神戸	神戸の文化	神戸長田 TMO	アスク	04年3月	158
神戸まち歩き	神戸	神戸の紹介	金治勉	神戸新聞総合出版	04年4月	125
公共交通と都市の再生	交通	鉄道	深貝哲郎	まつお出版	04年2月	185
集合住宅物語	住宅	住宅計画	植田実	みすず書房	04年2月	348
台湾社区総体营造の展開	まちづくり	その他	台湾まちづくり研究会	人と防災未来センター	04年3月	60
大学と地域のまちづくり宣言	まちづくり	まちづくり事例	鈴木 誠	自治体研究社	04年5月	103
コンバージョン	住宅	住宅論	松村秀一	エクスナレッジ	04年3月	181
日本型魅惑都市をつくる	都市	都市学	青木 仁	日本経済新聞社	04年3月	280

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

3月 1日(火)～31日(木)	こうべまちづくり学校展 まちなみゼミ「とっておきの神戸」 手づくり街カード展	まちづくり学校事務局
-----------------	--	------------

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

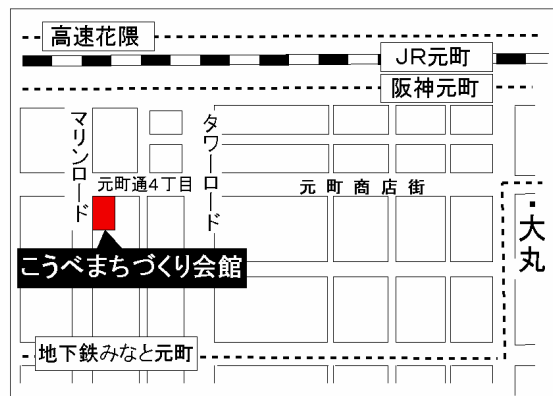
期間	内容・テーマ	主催者
3月 3日(木)～ 8日(火)	全日本写真連盟兵庫県本部委員展入賞作品展	全日本写真連盟兵庫県本部
3月11日(金)～15日(火)	フランス額装飾 坂本宣子と生徒作品展	坂本 宣子
3月17日(木)～22日(火)	兵庫倶楽部写真友会写真展	兵庫倶楽部写真友会
3月24日(木)～29日(火)	火彩会展示会(水彩)	火彩会
4月 1日(金)～ 5日(火)	のむら・アート・るーむ造形展「すまっこ作品展」	のむら・アート・るーむ

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター
 (こうべまちづくり会館 3F)
 電話 078-361-4377 ・FAX 078-361-4584
 受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 土・日・祝日は
 事前にご連絡ください。

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)
 会報等の印刷サービスや
 自治会の相談(インストラクター派遣など)
 受付:午前10時～午後6時(印刷は、5時まで)
 電話 078-361-4565
- 水曜休館



最寄駅

- 地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分
- 高速花隈駅東口から3分
- 高速西元町駅東口から5分
- JR・阪神元町駅西口から8分